

平成 2 7 年 1 2 月

# 伊東市議会 1 2 月定例会

## 一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一 般 質 問 順 序

- 1 井 戸 清 司 君  
(12月2日(水) 10時から10時50分)
- 2 中 島 弘 道 君  
(12月2日(水) 11時から11時50分)
- 3 長 沢 正 君  
(12月2日(水) 13時から13時50分)
- 4 青 木 敬 博 君  
(12月2日(水) 14時から14時50分)
- 5 四 宮 和 彦 君  
(12月2日(水) 15時から15時50分)
- 6 稲 葉 正 仁 君  
(12月3日(木) 10時から10時50分)
- 7 重 岡 秀 子 君  
(12月3日(木) 11時から11時50分)
- 8 鳥 居 康 子 君  
(12月3日(木) 13時から13時50分)
- 9 佐 藤 龍 彦 君  
(12月3日(木) 14時から14時50分)
- 10 杉 本 一 彦 君  
(12月3日(木) 15時から15時50分)

※質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 井 戸 清 司

1 本市における子ども子育て支援に対する現状と課題について以下伺う。

- (1) ニーズに合わせた利用者支援の状況について
- (2) 地域子育て支援拠点の活動状況について
- (3) 一時預かりの利用状況について
- (4) 子育て短期支援（ショートステイ）について
- (5) 認定子ども園に対する本市の考え方について
- (6) 無認可施設の現状と普及促進について

2 発達障害児（者）支援の現状と課題について以下伺う。

- (1) 現在の支援の状況について
- (2) 医療と教育現場との連携について
- (3) 医療と教育が連携できる施設整備について
- (4) 発達障害者就労支援者育成事業の推進について
- (5) 作業所の設置について
- (6) 市民病院等における理学療法の現状と課題について
- (7) 医療系大学や専門学校の誘致について

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 中 島 弘 道

- 1 中央区立宇佐美臨海テニス場跡地の利用法について伺う。
  
- 2 伊東オレンジビーチから宇佐美海岸にかけてのバイパスにおける歩道の有効活用について伺う。
  
- 3 観光誘客対策について、以下4点伺う。
  - (1) リピーター獲得に向けた方策について
  
  - (2) JR上野東京ラインを活用した誘客について
  
  - (3) JRデスティネーションキャンペーン実施の見通しについて
  
  - (4) 東京に開設したアンテナショップの現在の状況と今後の見通しについて
  
- 4 世界ジオパークネットワーク加盟に向けた今後の見通しについて伺う。



## 一 般 質 問 要 旨

議 員 青 木 敬 博

1 誘客対策において、5年から10年先までの中期的なビジョンを明確にし、ターゲットを絞った誘客対策を進めることで、さらなる効果が期待できると考えられることから、以下2点伺う。

(1) 国内向けの中期的なビジョン及びターゲットについて

(2) 海外向けの中期的なビジョン及びターゲットについて

2 外国人観光客の来遊に際し、さらなる経済効果につなげていくためには、宿泊にとどまらず、購買意欲を高めるための情報発信が不可欠であると思われるが、民間事業者への外国語による情報発信手段に対する支援について、どのように考えているか伺う。

3 観光においては観光動向やニーズの分析が重要と考えるが、現状と今後の対応について伺う。

4 防災行政無線の訓練放送時において、サイレンに驚かれる外国人観光客がおられると聞いているが、外国語で告知することはできないか伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

- 1 社会的孤立と困窮を生まないまちづくりについて、以下3点伺う。
  - (1) 生活困窮者自立支援制度に基づく事業に対する本市の考え方並びに事業の実施状況及び成果について伺う。
  - (2) 本来、生活困窮者自立支援制度は、セーフティーネットの対象とはならない相対的貧困状態にある人々を支援することが目的であると考えているが、その目的達成のためには相対的貧困率の把握が重要であると考えている。相対的貧困率の実態把握の重要性について、どのように考えているか伺う。
  - (3) 自立相談支援事業における組織及び運営に関し、関係部局間の連携状況について伺う。とりわけ、福祉部局と雇用部局の連携はどのように行われているか伺う。
  
- 2 10月から運行が開始された赤沢地区のデマンド型乗り合いタクシー「赤沢デマンド号」について、以下3点伺う。
  - (1) 実証運行の開始からまだ間もないが、利用者数、平均乗車密度等、現在までの利用状況について伺う。
  - (2) 1年間の実証運行期間の途中で経過検証は行うのか、また、運営方法等について修正などすることはあり得るのか伺う。
  - (3) 実証運行終了後、本事業の成果等を検証する際に、どのような結果であれば正規事業として実施され、さらに、事業の拡充が図られていくのか、その判断基準等について伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 稲 葉 正 仁

国の地方創生戦略に対する市の政策の進捗状況について、以下2点伺う。

1 農業の担い手育成並びに新規就農者及び新規起業者への本市独自の支援策について

2 人口減少及び少子化対策並びに要介護者を含む高齢者への支援策について

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 地方創生のためには、市民、行政、観光関連業者、専門家が知恵を出し合い、変化し続ける来誘客のニーズを分析し、伊東の豊かな観光資源を生かした観光戦略を研究する必要があると考えるが、いかがか。

また、その場として、伊東を担う次世代を育成する観点からも、「観光まちづくり大学」(仮称)を創設する考えはないか伺う。

2 夏休みなどの長期休みに保護者が忙しく、また、共働き家庭も多いなど本市を取り巻く子育て環境において、学童保育の担う役割は大きいが、現状、さまざまな課題を抱えていると思われることから、どのような支援策を考えているのか伺う。

3 なぎさ観光駐車場は、障がいを持つ方の就労の場としても重要であったが、自動化に当たり、雇用されていた方の問題は、どのように解決されたのか伺う。

また、駐車場における雇用については、生きがいと自立のための場として、きめ細かな配慮が必要と考えるが、いかがか。

4 来年7月には参議院選挙が予定されているが、投票率向上策について伺う。

また、市民の投票の権利を守るため、投票所の利便性のさらなる向上の必要があると考えるが、いかがか。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

- 1 伊東駅周辺整備について検討がされてから長い年月が経過しているが、観光客や市民の利便性を確保する観点から、早い時期に整備をすべきと考えるが、現時点における課題と今後の見通しについて伺う。
  
- 2 JR宇佐美駅のエレベーター設置事業に関し、進捗状況と完成時期について伺う。
  
- 3 高齢者等の生活を支える公共交通機関として、このたび赤沢地区においてデマンドタクシーをモデル的に運行しているが、デマンドタクシー等の事業を拡充していく考えはないか伺う。
  
- 4 ジェネリック医薬品については、国において平成32年度までの早い時期に8割の普及を目指すとの方針が示されたが、本市の今後の取り組みについて伺う。  
また、医療費の削減の観点からも薬の飲み残しを減らすことが重要であると考えているが、国が推進するかかりつけ薬局に関する普及・啓発について、本市の考えを伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

1 観光や地域産業発展のためにも水産業の振興は重要であると考え、老朽化した伊東魚市場の改修計画について、以下3点伺う。

(1) 改修計画の作成・決定方法及び今後の方向性を伺う。

(2) 水揚げされた魚を管理する上で、現在の魚市場では衛生上の問題があると思われるが、どのような改善が図られるのか伺う。

(3) 本市の水産物で「伊東ブランド」を確立していく上で、市場と連携した商業施設の併設や動線の確立などでにぎわい創出を図るべきと考えるが、いかがか。

2 新保健福祉センターについて、以下2点伺う。

(1) 子育て支援機能が創設されるようであるが、その内容について伺う。

(2) 保健福祉センター移転後、現在の保健福祉センターの活用方法について伺う。

3 中央区立宇佐美臨海テニス場跡地はさらなる活用が期待されるが、現時点での考えについて伺う。

## 一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

1 伊豆半島ジオパークのGGN（世界ジオパークネットワーク）への加盟が保留となったことについて、以下4点伺う。

(1) 保留の理由としてユネスコから指摘された10項目の改善点とはどのような内容であったのか伺う。

(2) 保留決定を受けてから11月19日までの約2カ月間、保留の理由について公表されなかった理由を伺う。

(3) 新聞等によると、指摘事項の一つがイルカ追い込み漁にふれている旨報道されているが、市長の考えを伺う。

(4) 伊豆半島ジオパークの世界認定に向けた今後の見通しについて伺う。

2 本市の公共工事の入札について、以下4点伺う。

(1) 指名競争入札における指名業者の選定はどのように行われているか伺う。

(2) 予定価格設定に際し、歩切りは現在も行われているか伺う。

(3) 地方公共事業の入札について、全国的に予定価格の事後公表を採用する旨の流れがある中で、本市が原則事前公表により実施している理由を伺う。

(4) 市内の工事組合等から、公共施設の建設に係る入札については、分離発注方式の要望等もあると思われるが、分離発注についてどのように考えているか伺う。

- 3 南中学校給食センター建設に係る入札について、以下3点伺う。
- (1) 1回目の入札の予定価格発表後、入札執行までに4企業体が辞退したとのことだが、その理由についてどのように検証しているか伺う。
  - (2) 2回目の入札の予定価格では約1億円の増額がされたが、設計額にどのような変更があったのか伺う。
  - (3) 入札予定業者の辞退により設計額が変更されることは、市民の入札制度に対する信頼を失うことにもつながりかねないが、市長の見解を伺う。